

# 学生担当者報 10

- Vol. 344 -

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/吉川万寿彦 編集責任者/松村孝吉

[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780

[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教178年  
平成27年9月25日発行

## 本当に帰りた場所



「バックできないくなったじゃ」

私の教会の部内の会長さんが、  
自家用車で青森からおぢばまで  
帰る途中、車が故障しバックが  
できない状態でおぢばに帰って  
こられた時の一言である。

この会長さんは、会長就任後  
から四十年間（二年前まで）、  
毎月一度も欠かさず自家用車で  
青森からおぢば帰りをされた方  
だ。当時は、高速道路も今ほど  
繋がってなく、道路整備もされ  
ていない箇所が多かったため、  
冒頭に述べたようなアクシデン  
トは何回もあり、おぢば帰りは、  
まさに艱難苦勞の道中だった。

しかしその中、ご本部にお供  
えするリングをどっさり積んで、  
二十時間もかけて毎月帰り続け  
てくださったのである。ちなみ  
に、重量オーバーの車はいつも

悲鳴を上げ、どの車も短命だっ  
た。何台くらい車を買換えた  
のかと聞いてみると、「んだの  
ー、三年に二台のペースだっ  
た。四十年で三十台。ギネスに挑戦  
できたかもしれない。」

また、この会長さん、あまり  
社交的な方ではなく普段は無口  
だ（ただし月次祭での挨拶は妙  
に長い）。さらに、喋っても  
激ナマリの持ち主なので会話が  
成り立たない。よって、同乗者  
がいても、ほぼ無言で車を走ら  
せることとなる。そんな二十時  
間を四十年間。私は感心するの  
と同時に、何が楽しくてそこま  
で続けられたのか不思議だった。

ある時、会長さんに聞いてみ  
た。「どうしてそこまでして、  
おぢば帰りを毎月続けたんです  
か？」すると、無口な会長さん  
はたった一言で答えてくれた。

「おぢばさ帰りたから」  
重みのある一言だった。おぢ

ばは、御用があるから帰る場所  
そんな気持ちに多少なりともな  
っていた自分が恥ずかしくなっ  
た。

様々な役割をいただく私たち  
お互いは、知らず識らずのうち  
に、おぢばを『帰らなきやいけ  
ない場所』にしてしまっ  
ないだろうか？ 本当は帰りた  
い場所であり、その上、御用を  
通して教祖の手足となつて働け  
る、嬉しい嬉しい場所が本来の  
おぢばなのだと思う。

十一月二十五日、「学生担当  
者大会」が開催される。担当者  
としての、私たちのおぢばの御  
用である。バックができなくな  
った車であっても、時間が作れ  
ない忙しい日々がそこにあつて  
も、この日、おぢばへ、おぢば  
へと、楽しみを持って帰りたい。  
そんな後ろ姿を学生に見せられ  
る担当者になりたい。そう思う  
今日この頃である。

担当者活動部 委員

葛西 直己



教祖130年祭 学生おぢばがえり大会

全教会からの参加を目指して

立教179年 3月28日 午前10時 大会動員目標

# 1万人

# 学生生徒修養会 高校の部 受講生・カウンセラー感想文

## Gakushu in Summer 2015

### ●受講生感想文

小さい時から嫌々天理教の活動に参加していたので、いつのまにか天理教が嫌いになっていったが、初めて天理教の活動で楽しいと思えた。そして、この職員に会えたことが嬉しすぎて、最終日の朝に泣きそうになったことが感動した。まさかここまで一週間で思考が変わると思わなかった。

(二回生女子)

まず、七日間でこんなにも仲良くなれる友達ができたといいことがとても嬉しくて感動しています。男女ともにひのきしんどはしっかりとめ、団結する所は団結した、はじめのある面白くていい班に会えたと思います。生活の面で不便な所はあったけど、そういう生活をする事で、普段

の生活のありがたみを感じました。天理教の教えについてより深く、詳しく学べて良かったです。

(一回生男子)

今までおつとめをやっていたけど、今回の学修でもっと天理教を信仰して自分からすすんでおつとめをしようと思った。楽しかったことは、十三峠でみんなと助け合っただけでよかったこと。途中で身上者がでたけど、最終的に全員揃ってジャンプでゴールできたのがうれしかった。みんなと協力することの大切さを改めて感じた。

(二回生女子)

寮での生活は普段の日常生活とはもちろん全然違って、不自由な面もあったけど、高校の友達とはしないようなことをしたり

して、ありのままの自分を出せて新鮮でも楽しかった。

(二回生男子)

ずっと楽しみにしていた初めての神名流しがすごく良かったです。また地元でもぜひやってみたく思いました。十二下りてをどりも、眠くなるかなー、長いかなー、と心配していたのですが、あつという間に終わって、すごく良い気持ちになりました。本当に全部楽しかったです。あと、六日目の寮長先生のお話がすごく心にグツときて涙が止まらなくて本当に良いお話を聞かしてもらえて良かったです。

(三回生女子)

今回の学修では感話大会や寮長先生のお話で考えさせられて、みんながいなかった



ら、自分はここにいられないんだなと分かりました。言葉では言い表せない、天理でしか味わえない感動を感じることができました。最後の学修が本当にいい思い出になったとともに、自分はこれからどういった歩み方をしていけばいいのかなど色々知れて良かったです。

(三回生女子)

### ●カウンセラー感想文

今回、初めて学修のスタッフを務めました。直前の役割変更でカウンセラーとなり、まもなく受講生の到着というタイミングで、受け持ちの班にダウン症の身上を持つ子がいると聞きました。経験のない私は正直、その事実には驚きを隠せず、不安で胸がいっぱいでした。

不安なまま生徒たちが続々とやって来て、班長を決める段階になりました。班長を決める際には、なるべく生徒たちだけで様子をそばで見っていました。すると、みんなが選んだ班長は、そのダウン症の身上の子でした。はたして彼女に班長が務められるのかという不安と驚きで、「えっ!？」と、一瞬間の中が真っ白になりましたが、寮長先生にもお伺いし、「自分からやると言ってくれたのであれば、その意見を尊重してやってもらおう。一人でできないことは、他の職員に手伝ってもらいながら通らせていただく」という方針が定まり、スター

トを切りました。

プログラムが始まると、班員の子が班長の苦手なことをしっかりと手伝ってくれました。みんなが自ら進んで手伝ってくれていることを、とても嬉しく感じました。班員たちが不足しても不思議でない場面もありましたが、期間中一つも不足は出ませんでした。むしろ、そのことを喜びや笑いに変えて通っていました。そんな姿を見てみると、ありがたく嬉しい気持ちになり、涙がぼろぼろと溢れてしまいました。

寮長先生は、「班員の子たちが、班長さんを通して人をたすける心を学んだならば、班長さんはその子たちの心を、人をたすける心にさせたことになる。班長さん自身も人だすけをしたことになる」と話されました。このたすけ合いの姿こそが、陽気ぐらしの姿なのだと感じるとともに、このために親神様は身上を持っている子を班長にしてくださったんだなと思うと、ありがたい気持ちでいっぱいになった一週間でした。ありがとうございました。

(二回生三年生)

# 学生生徒修養会 高校の部 一回生一年生講師感想文

## Gakushu in Summer 2015

八月九日十四時四十五分、開講式のために集まってくる学生たちを、第二食堂で私たち講師は、やや緊張の面持ちで待ち構えます。この間、色んな考えが頭をよぎります。

「今年はどうな生徒が集まるのだろうか?」「班はまとまってくれるだろうか?」「レクチャーはうまくいくだろうか?」等々。そんなことを考えているうちに、学生たちが続々と入場してきます。学生たちの顔を見れば、やはり一様に緊張の面持ち。いよいよ学修が始まります。

初対面同士の学生たちは、最初のクラスミーティングを通して少しずつ緊張をほぐし、続くレクチャーでは、緊張の中にも真剣に話を聞こうとする姿勢がヒシヒシと伝わっ

てきます。日を重ねるにつれ、クラスの雰囲気は少しずつ良くなり、学修がより楽しくなってくる頃、慣れない生活からの疲れが出るのでしよう、レクチャー中に睡魔と闘う学生がちらほら見えます。

そんな時、ある学生が「せっかくこの場に来ているのだから、しっかりと話を聞こう」と寮で職員と話したらしく、翌日からのレクチャーを受ける姿勢がより真剣なものになりました。

また、クラスの中に人との関わりが苦手な学生がおり、その言動がクラスの雰囲気に影響を与えることがありました。それを察知してくれたカウンセラーが寮で学生たちと話し合いの場を設けてくれたところ、

学生同士の関わり方に変化があり、より優しく、より温かい雰囲気クラスに生まれました。学生たちの「素直」で「純粋」な心には胸を打たれます。

最終日に、ある学生が「天理教に対する思いが変化し、より信仰心が深まりました。ありがとうございます!」と話してくれました。この学修で何かを得て、それを持ち帰ってくれたのなら、これに勝る喜びはありません。

期間中、親神様・教祖にお連れ通りいただいたことは申すまでもなく、寮長先生はじめ諸先生方、スタッフの皆様のお陰で助められましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

### 「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」

#### 直属分教会合同巡回 開催報告

八月二十五日、南右第二棟を会場に「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会 直属分教会合同巡回」を開催し、三十七名が参加しました。

巡回では初めに「春の学生おぢばがえり大会」、「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」についての説明がなされた後、大会DVDの上映と吉川委員長からの巡回講話がありました。講話では、委員長自身が毎日の生活を送る中で、教会に繋がる信者子弟や孫にまで目を向けていくことの大切さを改めて感じた体験や、「こどもおぢばがえり」参加者に対する丹精などといった話を通し、大会に向けて一人でも多くの対象者への声掛けに共に尽力いただきたいと、参加者へのお願いがなされました。

その後、二人の直属分教会担当者より、大会に向けての思いや自教会でできる声掛けなどについて話をさせていただきました。それぞれの教会に相応しい声掛けの方法について考える機会となりました。

そして最後に、今後の動きについての説明がなされ、巡回を閉会いたしました。



### 青空

今年の夏も、千人を超える高校生がおぢばにお引き寄せいただいた。大きな青空に包まれ、教祖のお膝元で、学生生徒修養会の一週間を過ごしてくれた。

数年前のこと…。ある高校二年生の彼女は、心が小学生。何をすることも皆と合わせることができない。その子のためにカウンセラーは寝る間を惜しんで心を砕いていた。初めは少し戸惑っていた同じ班の学生も、彼女に合わせ、彼女に寄り添うように班がまとまっていた。

そんな中で行われた寮の余興大会。その班の出し物は、周りの高校生が誰も知らない古い歌を、皆で手をつなぎ一緒に歌うだけの素朴なものだった。彼女がお父さんからよく聴かせても、唯一歌えるその曲を、皆で歌おうと練習してくれたのだった。会場の誰もが、とめどなく流れる涙を抑えることができなかった。

たった一週間とも思えるこの短い期間に、広く大きな青空のようなたすけ心をお育ていただき。おぢばで見つけたそれぞれの青空は、この先たくさんの人を包み込んでくれることだろう。

学生生徒修養会 二回生女子 十二母屋寮 副寮長 武田巳千郎



## 立教178年 学生担当者大会のご案内

日々は学生層育成の上にご丹精いただき、誠にありがとうございます。

さて、来る11月25日、学生担当者の総会ともいえるべき「学生担当者大会」を下記の通り開催いたします。教祖130年祭、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」を迎えるにあたり、表統領中田善亮先生よりご講話をいただきます。また、「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」の動員についての相談の場を設けたいと存じます。

教務ご多忙の折とは存じますが、教区・直属の主だった方、支部担当者の参加はもちろんのこと、本年の学生生徒修養会高校の部スタッフなど広く学生層育成に携わる方々にも何卒お声がけくださいますよう、ご案内申し上げます。

【日 時】 立教178年11月25日(水)13:00開始 (受付12:15～)

【会 場】 本部第二食堂

【対 象】 教区・直属担当委員長、委員、支部担当者、学生層育成に携わる者

【内 容】 ・表統領中田善亮先生ご講話  
・委員長挨拶  
・パネルディスカッション

11月例会に代えて、当日12:40より諸連絡を行います。教区・直属担当委員長は事前にお集まりください。

※会場周辺は大変混雑いたしますので、車でのご来場はご遠慮ください。

また、担当者大会終了後、教区・直属打合せがありますので、よろしく願いいたします。

## Happist 11月号 予告

[特集]

# コメのチカラ

インタビュー  
株式会社スズノブ代表取締役 **西島 豊造**

連載

開催報告 道の学生ひのきしんDAY

・教理コーナー

**希望の灯～おやさまのひながたに学ぶ～ 平野 知三** (本部准員)

・輝く生き方見つけよう

**Key Person** 数学者 **ピーター・フランク**

・信仰エッセー

**明日の地図ひろげて 岩佐 円秋** (南阿大教会長)

・人生を彩る1冊をあなたに。

**虹色のしおり 三濱 靖和** (天理図書館主事)

・東馬場先生と学ぼう!

**Happist ニュース 東馬場 郁生** (天理大学国際学部教授)



個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行ってまいります。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

## 台湾学生会おぢばがえり交流会 開催報告

八月二十日、毎年恒例の台湾学生会と親里に学ぶ学生との交流会が天理大学三号棟四階講堂にて行われました。台湾学生会十九名と日本の学生十二名が参加し、室内オリピックなどで交流を深めました。

始めにウォーミングアップを行い、参加者の緊張をほぐした後、学生担当委員会飯降委員の挨拶がありました。そして、それぞれの代表者が順番に選手宣誓を行い、台湾と日本の三つの混合チームに分かれて競技が繰り広げられました。

競技は、ビーチボールを使ったリレーや、絵心ゲームなど全五種目が行われました。初めは互いの言葉が通じず、ぎこちなかった雰囲気も、心を通わせることにより、競技を終えるころには自然と学生たちから笑顔が溢れてきて、互いに親睦を深めることができました。午後からは「新聞紙を着飾ろう」と題して、新聞紙、はさみ、クラブ

トランプといった限られた道具だけを使用し、班の代表者を「魔法使い」や「ロボット」など、テーマに沿ったコスチュームに着飾り、ファッションショーを行いました。学生たちは、この時間を通して、言葉以外にも身振り手振りで意思を伝え合い、一つのものを作りあげることの達成感や充実感を味わいました。その後、全員でレクリエーションダンスを踊り、会場は大いに盛り上がりました。

交流会の最後にはセレモニーが行われ、交流の印としてプレゼント交換を行い、台湾学生会から日本の学生に向けて中国語で「教祖百三十年祭 学生おぢばがえり大会」のイメージソング「希望の花」のダンスパフォーマンスが披露されました。最後には、日本の学生が台湾の学生たちを見送り、和やかな雰囲気交流会を終え、今回の交流会も大変有意義なものとなりました。

◆内容：こどもおぢばがえり 学生ひのきしん隊  
学生生徒修養会 高校の部

◆期間：平成27年9月25日～平成28年3月24日

◆購入方法：パソコンやスマートフォンで下記のURLにアクセスし、イベントIDとパスワードを入力して閲覧・購入してください。イベントIDとパスワードについてはお近くの教区・直属学生担当委員、または学生担当委員会事務局(0743-63-2489)までお問い合わせください。(インターネットでの購入が困難な方は、学生担当委員会事務局の窓口にて対応いたします)

◆頒布価格：L版40円 2L版100円 ※送料200円が必要

◆URL：http://11kao.jp/

## Happist Photo Gallery

インターネットでご購入いただけます。



学生生徒修養会 高校の部

### 「まなびば」開催会場一覧 《10月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
奈良 (※1下記参照)	10月3日13時30分 ～4日15時	中和大教会	森田 秀樹	
岡山	10月3日7時～4日18時	国立室戸 青少年自然の家	松井 亮平	
奈良 (※2下記参照)	10月10日13時30分 ～11日15時	南和分教会	米原 昭久	
滋賀	10月10日13時～11日13時	日野大教会	尾崎 淳也	
大分	10月12日13時～13日14時	教務支庁	矢野 大志	
愛知 (※3下記参照)	10月31日13時 ～11月1日15時	東愛大教会	速水 治	
山口	10月31日10時30分 ～11月1日15時	佐波分教会	宮木 伸	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。 ※1 高田、樫原、磯城支部  
 ※2 五條、御所、西吉野支部  
 ※3 南部、知多ブロック

**attention!**

**You Tube** 希望の花PV |

「希望の花」のプロモーションビデオが、youtubeで御覧いただけます。  
 担当者の先生方には学生に伝えていただきますよう、よろしく願いいたします。

→ 希望の花PVのURL <https://youtu.be/fhnEgB-VRzE>

## お知らせ

### 十月例会

- ・期日 立教178年10月26日
- ・時間 12時半受付 13時開始
- ・場所 南右第2棟3階

※例月と日時、会場が異なりますので、お間違えのないようお願いいたします。

### 学生層育成者講習会

#### 日程・会場案内

- 【教区】
- ・滋賀 10月2日11時15分～ 教務支庁
- ・岡山 10月2日11時～ 教務支庁
- ・山口 10月3日12時～ 教務支庁

## 報告

### 八月例会

去る8月25日教庁4階講堂に於いて「八月例会」を開催。出席は44教区、114直属。

### 各地の動き

#### 【教区学生層育成者講習会】

- ・鳥取 8月30日 教務支庁 96名
- ・群馬 8月31日 教務支庁 68名

#### 【直属学生層育成者講習会】

- ・京城 8月23日 大教会 300名
- ・琵琶 8月23日 分教会 110名

### 人事

#### 【学生担当委員会事務局退職者】

- ・山下秀伸（本愛・本築港）
- ・中村吉元（神崎・福部）
- ・伊藤元（幅下・愛知旭）

### 業務記録

- ・8月21日 学生連絡会
- ・8月16日～9月15日

教祖130年祭 学生おぢばがえり大会  
 プロジェクトチーム会議

### 『Happist』納品

- 22日 『Happist』発送
- 24日 担当者活動部部会
- 25日 委員会
- 27日 広報室会議
- 27日 HARP勉強会チーム会議
- 27日 学修高校の部研究室会議
- 27日 ビデオチーム会議
- 27日 出版部部会
- 27日 屋内プログラムチーム会議
- 27日 学修部部会
- 4日 委員会
- 4日 まなびば研究室会議
- 5日 担当者活動部部会
- 5日 委員会
- 6日 学修大学の部研究室会議
- 6日 学修高校卒業生コース会議
- 6日 出版部部会
- 15日 学修部部会（7日）
- 15日 人材育成部部会